

大会ルール

●一本勝ち

- ・反則箇所を除く部分への突き、蹴り等を瞬間的に決め、そのダメージにより相手をダウンさせた場合。
(3秒以内に立ち上がっても一本となる場合がある。又、少年部においては即一本とする)
- ・反則箇所を除く有効打の攻撃により相手の戦意を喪失させた場合。
- ・技有り二本を取った場合。(あわせ一本)

▲技有り

- ・反則箇所を除く部分への突き、蹴り等を瞬間的に決め、そのダメージにより一時的に動きが止まった場合。
- ・蹴り技がノーガード状態の相手の上段にクリーンヒットした時。
(但し、押し付けただけの蹴り、或いはヘッドギアにかすっただけの蹴りは無効とする)

【判定】

- ・技有りがある場合は、技有りを優先する。
- ・技有りが無い場合は、ダメージを優先する。
- ・ダメージが無い場合は、有効打を含めた手数、足数を優先する。
- ・有効打を含めた手数足数が同じ場合は気迫が勝っている方が勝ちとする。
(最終延長でどちらかに決めなくてはならない場合。)

【反則】

- ・手による首から上への攻撃。(手先が軽く触れても反則となる場合も有り得る)
- ・金的蹴り(相手選手がファールカップを着用していない場合は反則とはなりません)
- ・掴み(選手は如何なる場合も相手の道着を掴んではならない。手と手の掴み合いも反則)
- ・掛け(肩、腕、首、頭部、背中への手掛け)
- ・押し(体等によって相手を押した場合)但し、攻撃に繋げる為の一瞬の押しは有効とする。
- ・相手に頭、体をつけての攻撃。
- ・抱え込み(先に抱え込んだ方が反則)
- ・背後からの攻撃。頭突き
- ・倒れた相手への攻撃。(故意と判断した場合は即失格とする)
- ・掛け逃げ(攻撃を仕掛けつつ故意に倒れ込み行為)
- ・技を出さずにただ前に出るだけの行為。
- ・上記以外で審判員が特に反則とみなした場合。

【注意及び減点】

- ・反則を犯した場合「注意1」が与えられる。「注意2」「注意3」と続き「注意4」で失格となる。
※選手の父兄・応援者による審判団や相手側の選手に対する中傷又は罵声、暴言等を浴びせるような行為は選手が失格となる場合があるので十分ご注意ください。

【試合形式】

	本戦	延長	ファールカップ	ひざ	拳サポーター	ヘッドガード	チェストガード
幼年男子	1分30秒	1分	○	○	○	○	○
幼年女子			×	○	○	○	○
小学生男子			○	○	○	○	○
小学生女子			×	○	○	○	○
中学生男子			○	○	○	○	○
女子の部			×	○	○	○	○
壮年初級・上級の部	2分	2分	○	○	○	○	任意
高校生男子			○	○	○	○	×
一般初級・上級の部			○	任意	×	×	×

※ヘッドガード、チェストガードは主催者側で用意致します。それ以外の防具は各自で用意する事。

※準決勝までは延長戦、決勝のみ再延長戦(時間は延長戦と同じ)で必ずどちらかに優勢を取る。(マストシステム)

(幼年・小学生・中学生については皮製サポーターは禁止です)ので十分ご注意ください)

※ごみは必ず各自にて持ち帰して下さい。(会場にごみ箱はありません)

※会場施設の破損が生じた場合は各自にて弁済していただきます。